

次世代育成対策推進法に基づくくるみん認定企業として 株式会社文教コーポレーションを認定しました！！

令和4年度に入り福井労働局では、株式会社文教コーポレーション（福井市）を新たにくるみん企業として認定しました。令和4年4月のくるみん認定基準・マークの改正後、新認定基準により新しいマークを取得された、福井県内において初めての企業となります。

県内でくるみんの認定を受けた企業は、36社となりました。

また、「くるみん」「えるぼし」両方の認定企業は福井県内3社目となります。



新くるみんマーク

株式会社文教コーポレーション

所在地：福井市
主たる事業：施設管理、施設内の物品販売・店舗営業
代表者：代表取締役 三田村 耕平氏
社員数：353名

認定企業の取組内容

<男性の育児休業の取得促進>

男性社員が育児休業を取得しやすい職場風土作りのため、育児休業は男性も取得できる旨や育児休業中の経済支援を紹介したチラシを作成し、社内イントラに掲示し社員へ周知を行った。

また、対象の男性社員に個別面談を行い、育児休業制度等について説明を行う機会を設けた結果、男性の育児休業取得の実績をあげた。

<子育て中の社員が働きやすい環境整備>

小学校就学前の子どもをもつ社員を対象とした短時間勤務制度を導入した（法を上回る制度を導入）。

<多様な働き方を可能とする取組>

令和3年7月、在宅勤務制度を導入した。併せて自宅から社内ネットワークへの接続を可能とする機材等の環境整備を行った。

<残業時間の削減>

毎月社員の労働時間のモニタリングを行い、残業時間が月20時間を超える社員の情報を管理職間で共有し、残業縮減のためのヒアリングや面談を行っている。

また、時間外労働及び休日労働の1カ月の平均時間が7.1時間である。



右：株式会社文教コーポレーション
三田村代表取締役社長
左：福井労働局
山崎局長